

【2021.2.19（金）埼玉新聞】

自然災害時の 支援協力強化

LC国際協会と県社協

ライオンズクラブ国際協会330-C地区と県社会福祉協議会は16日、自然災害発生時の協力に関する協定を締結した。同協会は同社協運営の「災害ボランティア支援センター」に対し、自然災害発生時にボランティア活動などに利用する車両や必要な設備などを提供する。

同国際協会の森川明治郎ガ

バナーと同協議会の山口宏樹会長が県庁で締結書に署名し、立ち会った大野元裕知事は両会の協力に期待感を示した。森川ガバナーは「われわれも対策体制を構築しながら、災害被災者やボランティアに速やかな支援ができるよう尽力していきたい」と話し、山口会長は「支援は大変ありがたい。平時でも連携を深めつつ災害時に迅速な対応ができるよう努めたい」と謝意を述べた。（吉谷篤樹）



（左から）ライオンズクラブ国際協会330-C地区の森川明治郎ガバナー、大野元裕知事、県社会福祉協議会の山口宏樹会長。16日、県庁